



©2005 石塚真一小学館

第 287 号(令和4年(2022 年)12 月 15 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

11 月 4 週は、2 件の山岳遭難が発生しました。

1 件は登山中の行方不明、もう 1 件はきのこ採り中の遭難で、2 件とも単独での行動によるものでした。単独での行動は、万が一の際に通報ができない可能性が高く、下山予定日を過ぎて家族や友人等からの届出により遭難したことが認知されることがほとんどです。

皆さんは、万が一に備えた計画を立てていますか？冬山での歩行技術や装備の取扱いは大丈夫ですか？計画どおりのペースで目的地までに到着できる計画ですか？

計画の段階から登山は始まっています。登山は自然に立ち向かう冒険です。

これから登山の計画をされる方は、天候や積雪量によって、計画どおりに行動できないことを念頭に、慎重過ぎるぐらいの計画と日頃のトレーニングにより安全な登山を心掛けてください。

12 月 1 週は、2 件の山岳遭難が発生しました。

SNS など、個人の山行記録をそのまま「鵜呑み」にしていますか？記録によっては、日帰りでも 10 時間以上も行動する体力的に負荷の高い記録や、凍結したルートを通るなど、技術的に難易度の高い記録もあります。登山者それぞれ、体力や技術が異なるほか、天候やルートの条件が違いますので、そのまま「鵜呑み」にすることなく、自身に合わせた無理のない計画を立てましょう。

12 月 2 週は、3 件の山岳遭難が発生しました。

この時期の登山は、北アルプスのような標高の高い山域ではなく、積雪の少ない低山(里山)に登山へ行くことが多いと思います。しかし、里山といえども油断は禁物です。特にこの季節は、落ち葉により登山道が不明瞭になっていたり、滑りやすくなっています。

また、ルートによっては登山道が急峻であったり、崖の付近や鎖場を通過する箇所があります。里山登山であっても、事前に計画を立て、地図アプリのみに頼るのではなく、ルートの下調べをしっかりと行い、自身の体力や技量のほか、体調や健康状態を考え、無理のない登山をしましょう。

今週は、北アルプス等の高山だけではなく、標高約 1000 メートル付近でも降雪となるおそれがあります。積雪は、冬山登山において行動時間に大きく影響します。

冬山で遭難すると、状況によっては救助されるまで相当の時間がかかる場合があります。その間、遭難者本人や同行者は現場で風雪と寒さに耐えながら、救助を待たなければなりません。

冬山に入山する以上、遭難のリスクは誰しもあるものです。アクシデントに対応できるような非常用の装備を携行し、登山計画の段階から、積雪を考慮した余裕のある日程と冬山に対応できる装備品を携行しましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11月21日	北アルプス 大天井岳	女	29	行方不明	不明	単独で大天井岳周辺に入山し、行方不明
21日、単独で11月18日から、北アルプス大天井岳周辺へ入山した女性(29歳)が宿泊予定の山小屋に現れず、行方不明となっており捜索を予定しています。						
11月26日	木曾郡大滝 村山林内	男	84	死亡	滑落	単独できのこ採り中、滑落
26日、木曾郡大滝村の山林内に、単独できのこ採りのために入山した男性(84歳)が、足を滑らせて滑落する遭難が発生し、死亡が確認されました。						
12月2日	上田市真田 町長地籍「松 尾城跡」	男	66	無事救出	その他	単独で「松尾城跡」に登頂後、落葉で足を滑らせ滑落、急斜面で技量不足により、行動不能
2日、単独で上田市真田町長の松尾城跡に入山した男性(66歳)が、落ち葉に足を滑らせて滑落し、急斜面で技量不足により行動不能となる山岳遭難が発生し、上田警察署員及び上田地域広域連合消防本部救助隊員が出動して救助しました。						
12月3日	佐久市志賀 の岩場	女	52	負傷	転落	3人パーティで、通称「ひなたエリア」においてクライミング中、転落、負傷
3日、仲間3人と、佐久市志賀地籍の岩場「ひなたエリア」でロッククライミング中の女性(52歳)が、疲労により転落して負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部員らが出動して救助しました。						
12月8日	上田市上塩 尻地籍虚空 蔵山	男	32	負傷	滑落	単独で虚空蔵山に向けて登山中、滑落、負傷
8日、単独で上田市上塩尻の虚空蔵山に入山した男性(32歳)が、登山中に足を滑らせて滑落し、行動不能となる山岳遭難が発生し、上田警察署員及び上田地域広域連合消防本部救助隊員が出動して救助しました。						
12月10日	佐久市内山 地籍荒船山	女	28	負傷	転倒	単独で鱸岩付近を下山中、転倒、負傷
10日、単独で荒船山に入山した女性(28歳)が、鱸岩付近を下山中につまづいて転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域連合消防本部員が出動して救助しました。						
12月10日	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	男	27	無事救出	その他	単独で白馬鑓ヶ岳に日帰りで登山に向かったまま、行方不明となり、家族が救助要請。翌日、下山し、無事確認。
10日、単独で北アルプス白馬鑓ヶ岳に入山した男性(27歳)が、日没後も下山せず行方不明となる山岳遭難が発生しましたが、11日、下山を確認しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月11日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	279	37	4	137	126	304	178
内)単独登山	100	17	3	38	42	100	58
内)山菜きのこ採り	21	5	2	4	10	21	11
令和3年(2021年)	255	47	2	115	109	273	164
前年同期比	+24	-10	+2	+22	+17	+31	+14
内)単独登山	-8	-9	+1	+3	-3	-8	-5
内)山菜きのこ採り	-1	-4	+2	-4	+5	-1	-6

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月11日)

区分		件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	47	16.8%	8	0	27	15	50
	後立山	48	17.2%	7	0	20	27	54
	その他	30	10.8%	3	2	13	13	31
	計	125	44.8%	18	2	60	55	135
中央アルプス		17	6.1%	3	0	8	7	18
南アルプス		8	2.9%	0	0	5	3	8
八ヶ岳連峰		50	17.9%	4	0	29	25	58
その他の山岳		79	28.3%	12	2	35	36	85
計		279		37	4	137	126	304

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月11日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	74	26.5%	24	0	52	0	76
転倒	68	24.4%	0	0	68	0	68
病気	24	8.6%	8	0	0	16	24
道迷い	42	15.1%	0	0	1	53	54
落石	5	1.8%	0	0	6	0	6
雪崩	4	1.4%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	30	10.8%	1	0	0	33	34
不明・他	32	11.5%	2	4	8	24	38
計	279		37	4	137	126	304

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～12月11日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	3	6	9	40 19.4%	0	0	0	1	1	16 16.3%	10	56 18.4%
20代	1	0	3	16	20		0	1	5	3	9		29	
30代	0	0	4	7	11		1	0	4	1	6		17	
40代	4	0	25	8	37	66 32.0%	0	0	9	5	14	42 42.9%	51	108 35.5%
50代	4	0	14	11	29		2	0	13	13	28		57	
60代	11	0	16	24	51	100 48.5%	2	0	12	5	19	40 40.8%	70	140 46.1%
70以上	10	2	19	18	49		2	1	10	8	21		70	
計	30	2	84	90	206		7	2	53	36	98		304	
比率	67.8%						32.2%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。